

何ができるようになるか
○各教科等で育成する資質・能力



何が身に付いたか
○各教科等の学習評価

- (1) 自ら課題を発見し、協働しながら創造的に解決できる
- (2) 主体的に学び続ける資質・能力を身に付ける
- (3) 多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断できる

- (1) 課題を見だし、協働しながら創造的に解決できる力
- (2) 基本的な生活習慣と道徳観を身に付け、主体的に自らの将来に必要な知識や経験を考え学ぶことができる力
- (3) 多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断することができる力

・ ICT 機器などを活用しつつ、主体的に学ぶ機会や対話的に学ぶ機会が少なく、深い学びを実践している生徒が少ないことが課題である

・ 学校行事やキャリア形成活動において、主体的に活動している生徒が少ないことが課題である

生徒たちの発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- ・ 教育相談体制を整え、学校、保護者、SC、SSW 等と連携を図り支援する。
- ・ 必要に応じて、生徒の特性を踏まえた個別の教育支援計画を作成するとともに、教職員間で共有を図り、学校全体で支援する。

・ 教師や友人と協働しながら、学問のよさを理解するとともに、学び方を工夫しながら深い学びを実践しようとする生徒

・ グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を持つ生徒

何を学ぶか
○各教科等の教育課程の編成



どのように学ぶか
○各教科等の授業の実施

- (1) 自己理解と他者理解を深めるとともに、自分の考えを適切に表現しながら、協働して課題解決を図る場面の設定
- (2) 自分を律しながら主体的に行動できる力をつけるとともに、自らの成長のために必要な知識や経験を自ら考え、取りに行く力をつける環境の構築
- (3) 広い視野を持ち、多様な国や地域の文化への理解を深めるとともにグローバルな視野で自らの考えを検討する場面の設定

- (1) ライフスキル教育活動やシティズンシップ教育活動（LHR 等での特別活動）、教科横断的な探究活動や情報活用能力を育成する活動（総合的な探究の時間等）、各授業での学び
- (2) 基本的な生活習慣の確立と道徳観の醸成、自らの将来や成長過程を考えさせるキャリア教育活動
- (3) 英語科や地歴公民科を中心とした各教科での学びとダイバーシティ教育活動とおした国際理解教育の推進

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

新入生オリエンテーション・年次集会 / ライフスキル LHR / 各種検診・身体測定・体力テスト / 担任・保護者面談 / 各教科授業・探究学習・探究発表会 / ICT 教育 / 学校行事・各部活動 / 各種模擬試験・検定試験・校内定期試験 / 国際理解教育講演会・留学生との交流 / 進路 LHR（進路達成プログラム）・進路講演会・文理選択ガイダンス・大学見学会・キャリア講演会・進路検討会

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- ・ 言語活動を通じて育成される言語能力
- ・ 言語活動や ICT を活用した学習活動等を通じて育成される情報活用能力
- ・ 問題解決的な学習を通じて育成される問題発見・解決能力
- ・ 体験活動を通じて育成される体験から学び実践する力
- ・ 「対話的な学び」を通じて育成される多様な他者と協働する力
- ・ 学習を見直し振り返る力
- ・ 物事を多面的・多角的に吟味し見定めていく力（クリティカル・シンキング）
- ・ 統計的な分析に基づき判断する力